

## 令和8年3月18日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和8年3月18日
	開催時間	午前8時30分～午前10時
	参加者	区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告 ①	報告タイトル	「江戸川」ナンバー寄付金の活用
	所管部署	経営企画部
	報告内容	走る広告塔として地域の風景や観光資源を図柄にすることで地域の魅力を発信する図柄入りナンバープレートについて、令和7年5月7日より「江戸川」ナンバーが交付された。カラー図柄申し込みの際に支払う寄付金（1,000円以上）を、区内の交通改善や観光振興等に助成金として配分する。今後、活用案について、公募及び庁内募集を実施した後、区民アンケートを行い、その結果をもとに協議会において事業を決定する。
報告 ②	報告タイトル	火山噴火（富士山）に係る対応案のまとめ及び今後の課題
	所管部署	危機管理部
	報告内容	火山噴火に係る江戸川区の降灰堆積量は2.0～8.0cm、噴火後は早ければ1～2時間後に都内へ降灰すると想定されている。この度、内閣府の「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」（令和7年3月）における被害の様相を踏まえ、（1）噴火直後～降灰前、（2）降灰～3日間、（3）降灰後4日～15日、（4）降灰終了後に分け、区の対応案をまとめた。今後は地域防災計画や災害対応マニュアル等への記載や作成、降灰時も継続すべき通常業務の検討等が課題である。
報告 ③	報告タイトル	弾道ミサイルに係る対策案のまとめ及び今後の課題
	所管部署	危機管理部
	報告内容	弾道ミサイルは、①発射から10分もしないうちに到達する可能性があること、②弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体への大きな被害を受ける可能性があること等が想定されている。（1）Jアラート鳴動～着弾前、（2）着弾直後～1・2時間、（3）事態鎮静後～、（4）NBC（N：核攻撃、B：生物剤による攻撃、C：化学剤による攻撃）安全確認後～に分け、対応案をまとめた。今後は国民保護計画や対応マニュアル等への記載や作成、国民保護に係る区民への啓発、緊急一時避難場所の充実等が課題である。
報告 ④	報告タイトル	退職・昇任発令、入区式
	所管部署	総務部
	報告内容	3月31日に退職発令式、4月1日に昇任発令式及び入区式を行う。入区式は、入区3年目の入区式実行委員8名を中心に運営を行う。会場は、小松川さくらホールに決定した。閉会後は、荒川ロックゲート等で交流イベントを行う。
報告 ⑤	報告タイトル	令和8年公示価格の概要
	所管部署	都市開発部
	報告内容	地価公示法に基づき、国土交通省より令和8年の地価公示価格が公表された。全国、東京圏、地方圏いずれにおいても、住宅地、商業地ともに上昇。江戸川区では、住宅地で5.7%、商業地で8.7%と上昇率が拡大した。変動率の最も大きい地点は、住宅地が平井4丁目、商業地が松江5丁目であった。また、最も価格の高い地点は、住宅地が西葛西3丁目、商業地が西葛西6丁目といずれも前年と同地点であった。

## 令和8年3月18日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和8年3月18日
報告 ⑥	報告タイトル	タワーホール船堀ユニバーサルデザインミーティング報告
	所管部署	文化共育部・SDGs推進部
	報告内容	3月5日、タワーホール船堀にて、「ユニバーサルデザインミーティング」を開催した。全ての人 が使いやすく、分かりやすいタワーホール船堀をデザインしていくことを目的に、外国人の方々 から館内表示や受付・マナー等について直接意見を伺った。「誰でも会議室等を借りられること をもっとPRしてほしい」、「利用に関するルールについて多言語で案内してほしい」等の意見が あった。
報告 ⑦	報告タイトル	江戸川区児童相談所 第三者評価結果報告
	所管部署	子ども家庭部
	報告内容	児童福祉法に基づき、児童相談所の質の確保・向上を図るため、一般社団法人Ricolabによる児 童相談所の第三者評価を実施した（3年に1度実施）。児童相談所部分については、職員や施設措 置・里親委託・在宅支援中の子ども等へのアンケート調査、援助方針会議の傍聴、訪問調査を経 て、評価項目64項目について、s・a・b・cの4段階で評価した。64項目中、sが6項目、aが55 項目、bが3項目であった。一時保護所部分については、職員自己評価アンケート、一時保護中 の子どもの聞き取り、訪問調査を経て、評価項目67項目について、s・a・b・cの4段階で評価 した。67項目中、sが14項目、aが44項目、bが9項目であった。
報告 ⑧	報告タイトル	国道14号亀戸小松川立体6車線運用開始
	所管部署	土木部
	報告内容	松島1丁目から中央1丁目までの延長380mの区間について、3月28日より、現状の4車線から6車 線として運用を開始する。これにより交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待できる。